

樹木(高木)



2011.8.17 e

カラマツ(唐松、落葉松)

マツ科 カラマツ属
落葉高木 雌雄同株

松類はすべて常緑だが、カラマツは冬に葉をおとす。
この地方で一番多い木。
成長が早いことから、木材に利用するために沢山植えられてきた。



2011.3.16 e



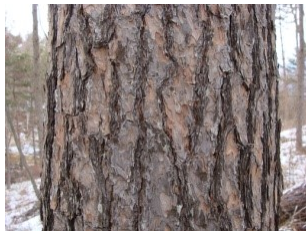
2011.8.17 e



松かさ 2011.10.12 e



2011.4.16 e



2011.3.16 e

アカマツ(赤松)

マツ科 マツ属
常緑高木 雌雄同株

幹は亀の甲羅こうらの形のような割れ目ができる。
この森での数少ない常緑樹のひとつ。



2011.3.16 e

ヒノキ(檜)

ヒノキ科 ヒノキ属
常緑高木 雌雄同株

材は香りが良い。

★e 我家の風呂場の壁は檜。



2008.11.22 e



2008.11.22 e



果実 2008.11.22 e



2011.10.2 e



雌花 2011.6.7 e

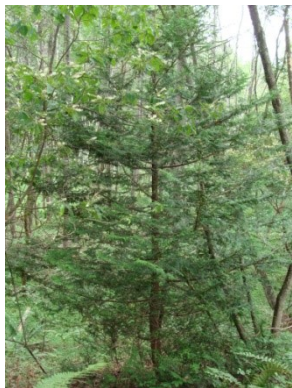


松かさ 2010.11.9 e



雄花 2011.6.7 e

樹木(高木)

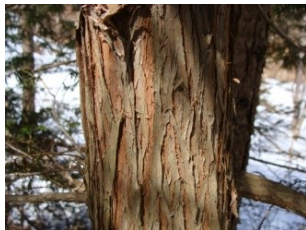


2011.8.17 e

サワラ(榿)

ヒノキ科 ヒノキ属
常緑高木 雌雄同株

材は水に強く、風呂桶などに使われる。



2011.3.16 e



葉裏 2011.3.16 e



果実 2006.5.8 e



ヒノキとサワラの見分け方

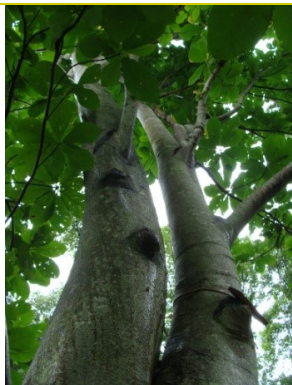


ヒノキ



サワラ

左写真の葉裏の気孔帯(上写真の白いところ)がY字に見えるのがヒノキです。サワラはH字に見えと言われていますが、どうでしょう。



2009.8.2 e



2009.8.2 e

幼木もさすがホオノキ大きな葉



幼木の葉 2009.8.2 e



落下した実 2009.8.2

ホオノキ(朴木)

モクレン科 モクレン属
落葉高木

市民の森入口に近い道路右側にある大木です。



84

名のホオは、苞の意味で大きな葉に食物を盛ったことに由来する。

材は柔らかくきめが細かいので版画の板に使われる。

葉面に植物性酵素をつけているので、これで飯や魚肉を包むと腐らないし、肉は柔らかくなる。

★e 大木です。下から見上げると人生観が変わりますよ！



2010.5.11 e

ウワミズザクラ(上溝桜)

バラ科 サクラ属
落葉高木



70



2011.8.17 e



枝ごと葉を落とす 2011.11.2 e

樹木(高木)



2010.5.11 e

カスミザクラ(霞桜) ケヤマザクラ(毛山桜)

バラ科 サクラ属
落葉高木

この森のヤマザクラはほとんど
がカスミザクラ。



70



2010.3.17 e



2011.8.17 e



2011.3.16 e

コブシ(辛夷)

モクレン科 モクレン属
落葉高木

この森には^{みしょう}実生の若木が沢山見
られる。
名は果実が集合果で、にぎりこぶ
し状のデコボコがあることからつ
く。



68



2009.8.2 e



果実 2011.10.2 e



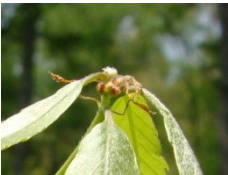
2011.7.5 e

コナラ(小櫛)

ブナ科 コナラ属
落葉高木 雌雄同株

この森は標高的にコナラの帯域です。ミズナラと比べ低地に生育し、葉柄が長く葉が小さい。名は小さい葉のナラのこと。ナラは風が吹くと葉が鳴ることから。

🍃 椎茸の原木、木炭の材料として利用。薪としても火持ちが良く好まれるが、最近は調達し難くなって高価になっている。



↑ 雌花 ↓ 雄花 2011.5.20 e



2010.3.17 e



2011.6.14 e



果実(ドングリ) 2008.8.27 k



虫こぶ 2011.11.2e

虫こぶ(⇒134)はナラメイガタマバチの幼虫が冬芽に寄生することによってできる。

樹木(高木)



2009.8.2 e

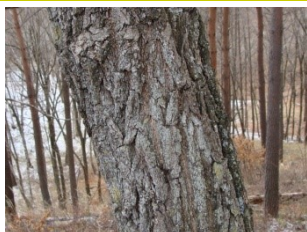
ミズナラ(水栴)

ブナ科 コナラ属
落葉高木 雌雄同株



果実(ドングリ) 2010.9.10 e

コナラと比べ高地に生育し、葉柄が短く葉が大きい。
市民の森はミズナラは少ない。



2011.3.16 e

カシワ(栂)

ブナ科 コナラ属
落葉高木 雌雄同株

カシワの葉は秋に完全に落葉せず、翌年まで残る。この性質を子孫繁栄、家系が途切れないなど縁起よいとして餅を包んだ。



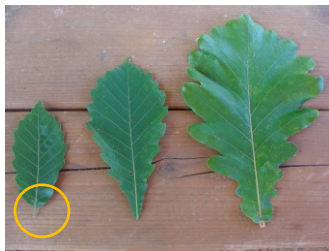
2011.6.14 e



冬に残った葉 2011.3.16 e



葉っぱくらべ



コナラ(左)

○印の葉柄が
長いのが特徴

ミズナラ(中央)

カシワ(右)

2011.7.12 e



2011.11.15 e

クリ(栗)

ブナ科 クリ属
落葉高木 雌雄同株

花が咲くと、独特の臭いがする。

🍎 果実は食べる。



2011.7.5 e



2011.6.14 e

雄花序の元に雌花がつく



2010.6.22 e



若い果実 2009.9.26 e

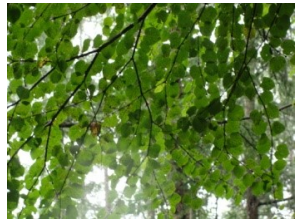


2011.9.18 e

カツラ(桂)

カツラ科 カツラ属
落葉高木 雌雄異株

名は、黄葉した葉が甘く香ることから「香出」(かず)、その後、カズラとなり、今のカツラ(桂)となったという。



2009.8.2 e

★e 落葉のころ、側を通るとケーキ屋さんの臭いがするよ！

樹木(高木)



2011.6.12 e

シラカンバ(白樺) シラカバ(白樺)

カバノキ科 カバノキ属
落葉高木 雌雄同株

幹が白いことから名がつく。
茅野市を代表する木(市木)



2011.3.16 e



2011.11.2 e

明るい場所を好み、成長が早い
が、大きくなると中心部が腐朽し
てくることが多い。



2008.8.31 e

ウダイカンバ(鶉松明樺)

カバノキ科 カバノキ属
落葉高木 雌雄同株

頂上広場から池への散策路に
あります。



2010.3.17 e



落ち葉 2010.3.17 e

★ e 葉は高くて撮れない！



2009.8.2 e

ハンノキ(榛の木)

カバノキ科 ハンノキ属
落葉高木 雌雄同株

名前のハンは田圃の畔の意だろう。



2009.8.2 e

かつての田んぼにはつき物で、『ハンノキの花多き年に不作なし』とか『ハンノキの実が多い年にはよく米が出来る』という俗言もある。



2008.11.22 e

ヤマハンノキ(山榛の木)

カバノキ科 ハンノキ属
落葉高木 雌雄同株



2010.8.20 e

ヤマハンノキ、ケヤマハンノキなど、判別が難しい。



2011.9.13 e

ウリハダカエデ(瓜膚楓)

カエデ科 カエデ属
落葉高木 雌雄異株

名は、樹皮がマクワウリの膚に似ていることから。



2009.8.2 e



68

この森には、ウリカエデ(⇒131)もある。

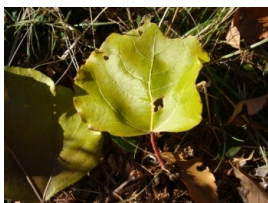
樹木(高木)



2010.11.20 e

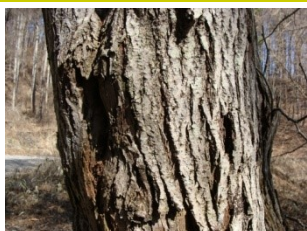
ヤマナラシ(山鳴らし) ハコヤナギ(箱柳)

ヤナギ科 ハコヤナギ属
落葉高木 雌雄異株



落葉した葉 2010.11.20 e

葉柄が縦に扁平していて風に揺れやすく、硬い葉がふれあい音を出すことからこの名がつく。



2010.3.17 e

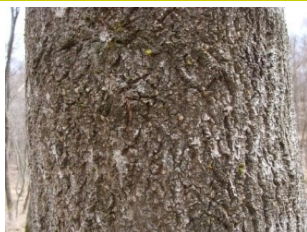
バッコヤナギ(跋扈柳) ヤマネコヤナギ(山猫柳)

ヤナギ科 ヤナギ属
落葉高木 雌雄異株



2009.8.2 e

名の由来は、我が物顔に生えて増殖することからという説、“婆っこヤナギ”つまり“おばあさんの白髪”という説がある。



2011.3.16 e

キリ(桐)

ゴマンハグサ科 キリ属
落葉高木



2009.8.2 e

名は、木目が美しいキリ(木理)による説と、切るとすぐ芽を出し、きりが無いからという説がある。



2011.6.10 e

ミズキ(水木)

ミズキ科 ミズキ属
落葉高木

樹液が多く、早春に枝を切ると水が滴り落ちる。ことから、この名がつく



79



2010.3.17 e



2011.8.17 e

材は白く、きめが細かく、コケシ、玩具などの材料に使われる。




2011.4.21 e

リョウブ(令法)

リョウブ科 リョウブ属
落葉高木

頂上広場から池へ下りる斜面に多く見られる。

花の季節にはいい香りがする。

 若芽は食べられる。



97



葉と花 2009.8.2 e

この地方ではサルスベリとも呼ばれ、昔は御柱のてこ棒に使われた。最近では、ニセアカシア、ナラが使われるそう。

平安時代、救荒植物(飢饉時の食用植物)として、若芽を採取し乾燥して貯蔵を命じた令法が発せられた。名はこのことに由来する。

★k 花の香りがあまーい。

樹木(高木)



2011.11.15 e

クワ(桑)

クワ科 クワ属
落葉高木 雌雄異株

葉に切れ込みが入ることがある。
幼木は特に切れ込みが深い。



2011.6.12 e



若い実 熟すと黒くなる。 2011.6.28 e



幼木の葉 2010.11.9 e



2009.8.2 e

ニワウルシ(庭漆)

ニガキ科 ニワウルシ属
落葉高木 雌雄異株



果実 2010.11.9 e

ウルシ科ではないが、葉がウルシに似ていることからこの名がついた。

中国原産で、庭木として植栽されるうち野生化した。



2011.3.16 e

アオハダ(青膚)

モチノキ科 モチノキ属
落葉高木 雌雄異株

小枝をねじって皮を剥くと青い肌が見える。
柄のついた葉は互生しているが、短い枝の先では束になってつく。内皮が青いことからこの名がつく。



2009.8.2 e



雌花 2011.6.12 e



果実 2011.9.13 e



雄花 2008.6.14 y



2010.9.1 e

フサザクラ(房桜)

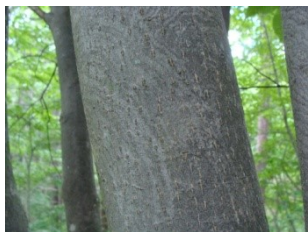
フサザクラ科 フサザクラ属
落葉高木



2010.9.1 e

葉の先端が長く伸び鋸歯がところどころで飛び出すのが特徴。

樹木(高木)



2011.7.5 e

アワブキ(泡吹)

アワブキ科 アワブキ属
落葉高木

燃やすと切り口から泡を吹き出す
ことからこの名がついた。



2011.6.14 e



2010.8.22 e

オオバアサガラ(大葉麻殻)

エゴノキ科 アサガラ属
落葉高木

材質が柔らかく麻殻のように簡
単に折れやすく、葉が大きいこ
とからこの名となる。



2010.8.22 e



花 2011.6.28 e



果実 2011.8.27 e